

1. 単元名 花っ子の町のすてきな人

2. 単元の目標

- 地域のために活動している人々がいることを知り、自分たちがそのような人々に様々な場面で支えられていることに気づくことができる。(知識・技能)
- 地域のために活動している人々が、どのような活動をしているか、どのような思いで活動しているかを調査するとともに、分かったことや考えたことをまとめ・表現することができる。(思考・判断・表現力)
- 地域のために活動している人々について主体的に調べるとともに、自らも地域の活動に進んで参画しようとする気持ちをもつことができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、地域で様々な活動をしている人々について調べることを通じて、自分たちの生活を支えてくれている人や、よりよい地域にしようとしている人がいることを理解するとともに、自らも地域の一員として何ができるか考え、行動しようとする態度を育てることを主な目標として行う。

今回の学習では、「朝の見守り運動」「花いっぱい運動」「灯明祭り」「人権標語」の4つの活動を取り扱う。「朝の見守り運動」は、毎日地域委員と地域ボランティアの方が登下校の子どもの見守りとともに挨拶を広げる目的で行っており、「花いっぱい運動」は、公園や通り沿いの花壇の管理・季節の花への植え替えを年中行ってくれている。「灯明祭り」は毎年秋に開催され、本校の3年生が毎回手作り灯明を提供し、「人権標語」には5・6年生が標語を提供している。

地域の活動について知り、また自分たちも実際に活動に関わったり疑似体験をしたりすることを通して、自分自身も地域を構成している一人としてできることについて考えることができる教材である。

(2) 児童観

本学級の児童の4つの活動に対する認知度は、「見守り活動」…知っている22・知らない8、「灯明祭り」…知っている17・知らない13、「人権標語」…知っている1・知らない29、「花いっぱい運動」…知っている2・知らない28(全30名)となった。見守り活動は通学路に立っている活動の方に会ったことがある、灯明祭りは実際に家族と行ったことがある、といった理由から知っている児童が多かった。しかし、高学年中心に参加し、公民館で掲示されているために目にすることが少ない人権標語はほとんどの児童が知らなかった。また、植えてある花は目にしているものの、それがどのような経緯で植えてあるのかまでは認識しておらず、花いっぱい運動についても知らなかった児童が多くなった。

同時に行った、どの活動について興味があるかの問いには、「見守り活動」…4人、「灯明祭り」…14人、「人権標語」…8人、「花いっぱい運動」…4人となった。灯明祭りは行ったことがない児童が、人権標語も全く知らないから知りたいという児童が多くなった。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず校区の花壇の5月と11月の写真を提示し、季節が変わっても花が咲いていることや、違う種類の花が咲いていることに疑問をもたせ、花を管理している人がいることを知らせるとともに、地域では様々な活動・行事が行われていることを想起させる。

次に、今回取り扱う4つの活動の中から最も興味をもって調べたいテーマを決め、どんなことを知りたいか、話を聞いてみたいか質問の内容を考えさせる。今回は感染症等の不安が残るため、直接お話を聞くことができるのは公民館長（人権標語）だけとなるが、その他の3つの活動も公民館が関わるため、そこで質問できることは尋ねる。残る質問については、各活動の代表の方に手紙で質問し、返事をいただく形式をとる。

最後に、インタビューや手紙で知ったこと、これから自分がやってみたい活動などについてまとめ、学級で伝え合う活動を行う。このとき資料に、自分はどのように関わりたいかを書くことで自分事にするための意識付けを図る。

また、この単元の後も4つの活動について実際に参加したり、疑似的な体験をしたりする学習を計画している。これらの学びや経験を通して、「地域の活動＝自分たちにもできる活動（自分事）」という認識を持たせることができる学習である。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせる ESD の視点

相互性…地域の中で、様々な人が自分の生活に関わっていること

連携性…地域の人々が協力し合って、よりよい地域にしようと活動していること

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

…地域の中で、どんな人たちが、どんな思いで、どんなことをしてくれているか調査する。

コミュニケーションを行う力

…調べたりインタビューして聞いたりして知ったことを、お互いに交流し、広げようとする。

進んで参加する態度

…地域の活動に感謝し、自分にもできる範囲で積極的に参加・協力しようとする心をもつ。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福感を重視する

…自分の住む地域の中で、生活をよりよくしようとしてくれている人たちや、楽しいことを

実施しようとしてくれている人たちがいることを知り、そのことに幸福感を感じる。

・達成が期待される SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

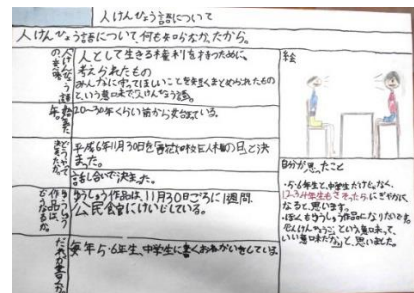
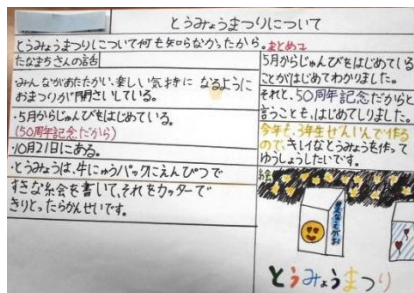
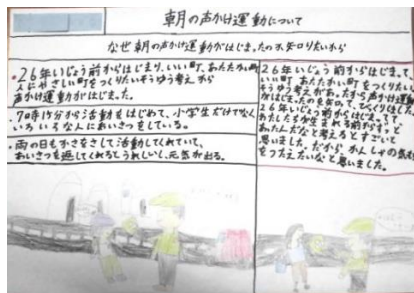
(ア)知識及び技能	(イ)思考・判断・表現力	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①自分の住む地域では、よりよい地域にするためにすすんで活動してくれている人々がいることを理解している。</p> <p>②よりよい地域にするために活動している人々について調べたり尋ねたりしたことの中から必要な情報を集めている。</p> <p>③よりよい地域にするために活動している人々が、どのような思いをもって活動しているか理解している。</p>	<p>①よりよい地域にするために活動している人々について調べたり尋ねたりしたことを自分なりにまとめ、伝えている。</p> <p>②地域の一員として自分たちにもできることがあるという認識をもっている。</p>	<p>①地域活動について興味をもち、自分のテーマに沿って積極的に調べたり疑問について尋ねたりしようとしている。</p> <p>②自分もできそうな活動について考えている。また、実際に自らすすんで活動に参加している。</p>

5. 単元の指導計画（全12時間）

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1 地域で様々な活動が行われていること、そこに関わっている人がいることについて考え、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに公園や歩道の花が違うよ。 ・子供会のイベントや、地域公園の掃除、お祭りなどがあるよ。 ・どんな人が関わっているのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節が違う公園の花壇の写真から、誰が花を植え替えているのか疑問をもたせる。 ○ 活動やイベントには必ず“人”が関わっていることを考えさせ、学習課題をつくる。 	<p>ア① (知技)</p>
<p>花っ子の町で、地いきの活動や行事にかかわる人について調べよう。</p>		
<p>2 4つの活動（朝の見守り活動・灯明祭り・人権標語・花いっぱい運動）から、自分が調べたい活動を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ大変なのか知りたいな。 ・知らなかった活動が気になるな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに現時点で知っていることを出し合い、「今まで知らなかったから知りたい」「知っていたけどもっと詳しく知りたい」という気持ちを起こさせる。 	
<p>3 公民館を訪問し、館長（主に人権標語）にインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ頃から活動をしているのですか。 ・なぜ、標語作りが始まったんですか。（※他の活動も、可能な範囲で質問する） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に質問したいことをプリントに書き出させておく。 ○ ここで聞けなかったことは、手紙にして活動の代表者に聞いておく。 	<p>ア② (知技) ウ① (主体性)</p>
<p>4 インタビューや手紙の返事をもとに自分の課題についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まった経緯 ・活動の内容、心掛けていること ・活動して嬉しいと感じること・場面 ・今後、自分はどうか関わりたいか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人で発表するので、自分と違うテーマの人にも分かるようにまとめることを意識させる。 ○ 自分意識につなげるために、自分がどのように関わっていきたいかを書かせる。 	<p>ア③ (知技) イ① (思判表) ウ② (主体性)</p>
<p>5 まとめたことを発表し、伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が元気にあいさつを返してくれることが、とても嬉しいそうです。 ・地域の方々が、こんな思いで活動してくれていると分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけ違うテーマの発表を聞くことができるようにグループ分けをする。 	<p>イ① (思判表)</p>
<p>6 学習をふり返り、今後について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに挨拶して元気になってほしい。 ・灯明を作って、祭りに参加したい。 ・今年から人権標語を書きたい。 ・学校を花いっぱいになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の情報集め・発表の分かりやすさについて評価し、やってみよう活動や理由について自己評価・記入させる。 	<p>イ② (思判表) ウ② (主体性)</p>

6. 実践より

【発表物】



【学習後アンケート「今後やってみたい活動」の理由】

- みんなに元気よくあいさつして、みんながいろいろな人に元気よく話して、世界の人たちがやさしく、元気になってほしいからです。(朝の見守り)
- みんなの元気なあいさつをきくと、元気が出るから。(朝の見守り)
- みんながあたたかい気持ちになるように、とうみょうを作りたいたです。(灯明祭り)
- 人けんひょうご語というものを知らなかったの、やってみたくと思いました。

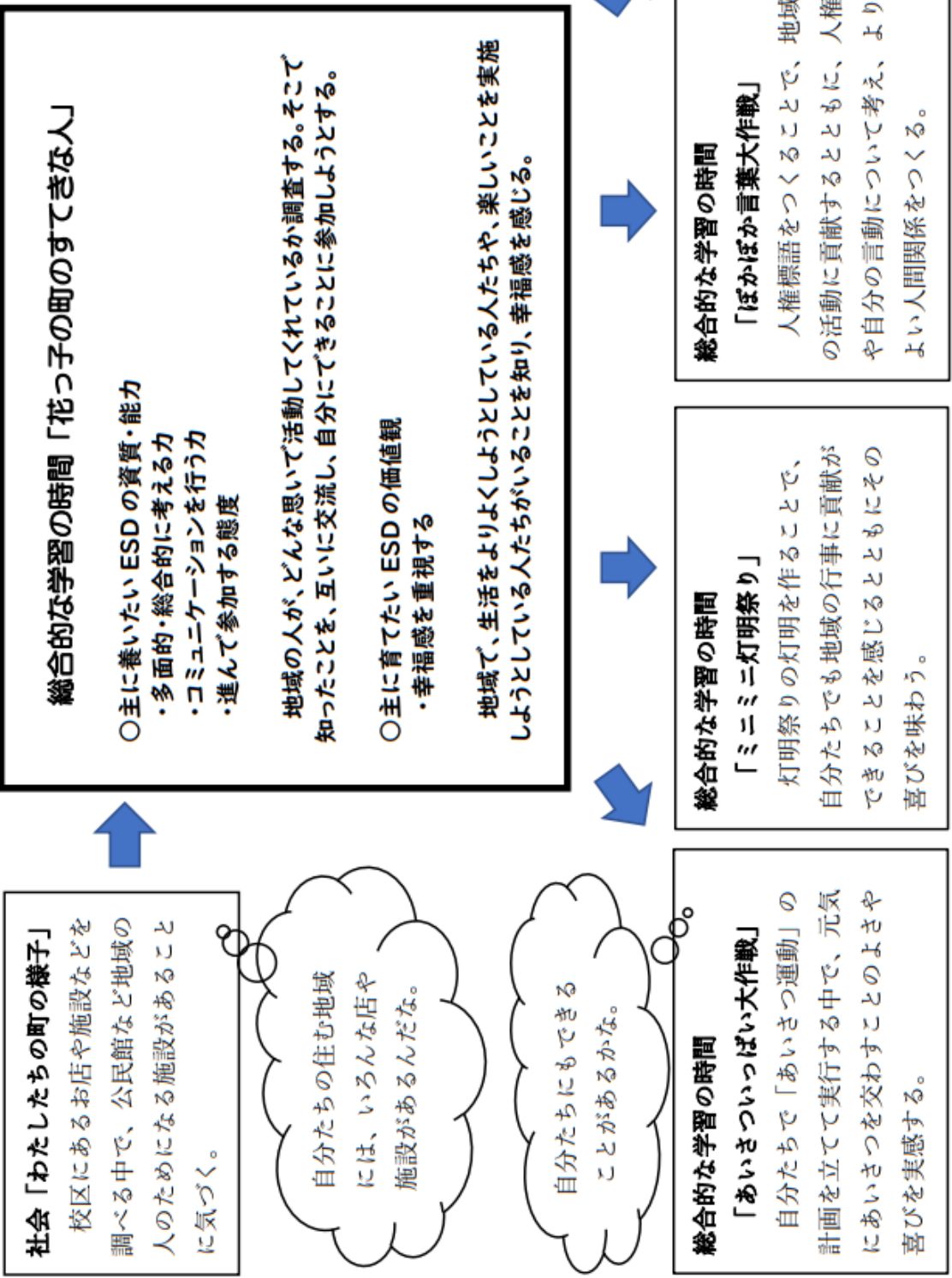
(人権標語・発表を聞いて)

7. 成果と課題

- 学習後のアンケートで「活動をくわしく知ることができた」の問いに対し、26名の児童が肯定的回答をしたことから、ほとんどの児童が地域活動についての理解を深めることができたと考えられる。
- 同アンケートで、「分かりやすく発表することができた」の問いに対して、24名の児童が肯定的回答をした。また、ほぼ全員が自分で発表物を作り、グループ発表に臨むことができた。
- この学習後、それぞれの活動の体験・疑似体験として、灯明作りとミニ灯明祭り、あいさつ運動ボランティア、人権標語づくり、花壇づくりを行った。灯明は希望者の分が実際に祭りに使用され、地域活動に貢献できたという実感をもつことができた。また、あいさつ運動でボランティアを継続する大変さと気持ちよさを体験し、人権標語で友達や家族の大切さを考えることができた。
- 児童のうち3名が、「活動をくわしく知ることができた」の問いに対し否定的回答をした。グループでの発表にしたため、メンバーによる発表の上手さの偏りがあったことが考えられる。複数の児童の発表が聞けるようなグループ作りを工夫する必要がある。
- 児童のうち5名が、「分かりやすく発表することができた」の問いに対し否定的回答をした。そのうち1名は発表物を完成させることができなかった。初めての総合的な学習の時間だったことも考慮して、アドバイスだけでなく、書くことが苦手な児童のための文章のヒントを用意しておく必要があった。
- 全員が今後やってみたい活動について書くことができたが、その理由に今回の学習を反映した意見を書けていない児童が17名(うち2名は無記入)いた。今回、直接会って話を聞けなかったことが、地域の方の思いを十分に受け止めることができなかった一因であると考えられる。

現在の学年終了時を目指す姿

自分の地域では、地域の人や子ども達がよりよく、より楽しく過ごせるように活動してくれている人々がいることを理解し、そのことに喜びを感じたり、感謝したりすることができる。また、自分が地域や人のためにできることを考え、行動に移すことができる。



社会「わたしたちの町の様子」
校区にあるお店や施設などを調べる中で、公民館など地域の人のためになる施設があることに気づく。

自分たちの住む地域には、いろいろな店や施設があるんだな。

自分たちにもできることがあるかな。

総合的な学習の時間「花っ子の町のすてきな人」

- 主に養いたいESDの資質・能力
 - ・多面的・総合的に考える力
 - ・コミュニケーションを行う力
 - ・進んで参加する態度

地域の人々が、どんな思いで活動してくれているか調査する。そこで知ったことを、互いに交流し、自分にできることに参加しようとする。

- 主に育てたいESDの価値観
 - ・幸福感を重視する

地域で、生活をよりよくしようとしている人たちや、楽しいことを実施しようとしている人たちがいることを知り、幸福感を感じる。

国語
「わたしたちの学校じまん」
学校や校区のよいところを「じまん」として取り上げ、地域のよさを再確認する。

総合的な学習の時間
「西花畑のたからもの」
校区にあり、校章にも使用される「桧原桜」を見学に行く。4年生での学習の導入となる。

自分たちにも、学校や地域のためにできることがあるんだな。これからも続けたいな。

総合的な学習の時間
「あいさついっぱい大作戦」
自分たちで「あいさつ運動」の計画を立てて実行する中で、元気にあいさつを交わすことのよさや喜びを実感する。

総合的な学習の時間
「ミニミニ灯明祭り」
灯明祭りの灯明を作ること、自分たちでも地域の行事に貢献ができることを感じるとともにその喜びを味わう。

総合的な学習の時間
「ばかばか言葉大作戦」
人権標語をつくることで、地域の活動に貢献するとともに、人や自分の言動について考え、よりよい人間関係をつくる。

総合的な学習の時間
「花いっぱい大作戦」
学校の花だんの整備を行い、花がきれいに咲くことの喜びや花を見た人たちが喜んでくれることに充実感を感じる。